

登録コード	A3592485	開講年度	2026			
授業科目	プレゼンテーション演習				担当教員	徳武 優佳子
英文授業名	Presentation					米倉 真一
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2022Aカリ, 2021Aカリ, 2020Aカリ, 2019Aカリ					
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				文献調査から動物栄養飼料学分野の専門知識を習得できるようになる。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				研究報告を行うことでプレゼンテーション能力が向上するとともにディスカッションからコミュニケーション能力も向上する。	
	2026A3編（24A）, 2025A3編（23A）, 2024Aカリ, 2023Aカリ					
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				文献調査から動物栄養飼料学分野の専門知識を習得できるようになる。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				研究報告を行うことでプレゼンテーション能力が向上するとともにディスカッションからコミュニケーション能力も向上する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作製方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。					
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。					
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を勧める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。					
(7)成績評価の基準	出席および発表内容を判断して総合的に判定します。具体的には、発表に用いる資料のまとめ方(レイアウトの仕方・分かりやすさ・必要な図表を選んでいるかなど)、発表の仕方や発表に関して行われる質疑応答も重要な成績評価の材料となります。					
(8)事前事後学習の内容	テーマに関連する成書を参考にして基礎知識を身につけ、関連分野のトピックスを雑誌、新聞等を通して知識を深めるとともに、常に最新トピックスを得るアンテナを張っておいてください。					
(9)テストやレポートの予定	なし					
(10)成績評価の方法	受講態度と最終回に提出した課題の内容					
(11)質問、相談への対応および連絡先	動物栄養飼料科学研究室（C棟310） Tel 0265-77-1421, e-mail tokutake@shinshu-u.ac.jp					
(12)履修上の注意	対象学生：動物資源生命科学コース4年生。研究室配属後の履修になります。開講形式は研究室ごとに異なるので注意してください。					
【教科書】	指定しない					
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）					